

**The English translation of the surrounded parts by the red line on the publication** (Japanese registered utility model publication No. 3037909)

(21) Application No. : 8-12387

(22) Filing Date : November 18, 1996

(24) Registration Date : March 12, 1997

(45) Published Date : June 6, 1996

(73) Applicant : Culture Convenience Club Co., Ltd.

(54) Title of the Device: Input source selection device using decoder for satellite digital broadcasting

[0004]

[Problems to be Solved by the Device]

The present invention is made in light of the current situation described above.

The purpose of the present invention is to easily use various kinds of services by using electronic program guides (EPG) of digital multi-channel broadcasting services.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3037909号

(45) 発行日 平成9年(1997)6月6日

(24) 登録日 平成9年(1997)3月12日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N	7/20		H 0 4 N	7/20
	5/44			5/44
H 0 4 Q	9/00	3 0 1	H 0 4 Q	9/00
				A
				3 0 1 E

評価書の請求 未請求 請求項の数1 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願平8-12387  
(22) 出願日 平成8年(1996)11月18日

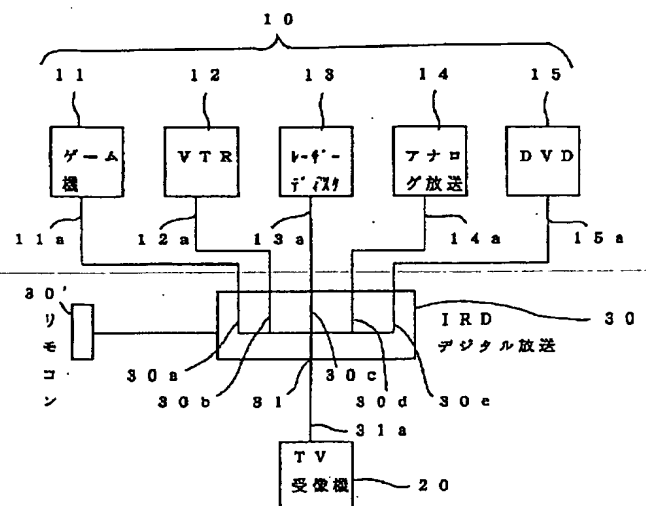
(73) 実用新案権者 595167214  
カルチュアコンビニエンスクラブ株式会社  
大阪府大阪市中央区城見一丁目4番70号  
(72) 考案者 増田 宗昭  
大阪府枚方市桜町9番1号  
(74) 代理人 弁理士 竹内 卓 (外1名)

(54) 【考案の名称】 衛星デジタル放送用デコーダを利用した入力ソース選択装置

(57) 【要約】

【課題】 デジタル多チャンネル放送サービスの中のチャンネル内容案内画面 (E P G) を利用することにより、多様なサービスを簡便に利用できるようにする。

【解決手段】 ゲーム機 (11)、V T R (12)、レーザーディスク映像再生機 (13)、C Sアナログ放送受信機 (14) 等の各種入力ソース装置 (10) とテレビ受像機 (20) の間に C-S デジタル放送用デコーダ (30) を介在させる。衛星デジタル放送用デコーダ (30) は、デジタル多チャンネル放送のための衛星デジタル放送用デコーダ用の本来の機能と、少なくとも1種類の別の入力ソース装置 (10) の本来の機能と、それら機能の間でのスイッチング手段 (31) を有する。テレビ受像機 (20) は、デジタル多チャンネル放送のチャンネル内容案内画面 (21) 及び前記入力ソース装置の内容案内画面 (22) を有する。



1

2

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 デジタル多チャンネル放送のための衛星デジタル放送用デコーダ用の本来の機能と、少なくとも 1 種類の別の入力ソース装置 (10) の本来の機能と、それら機能の間でのスイッチング手段 (31) を有する衛星デジタル放送用デコーダ (30) と、デジタル多チャンネル放送のチャンネル内容案内画面 (21) 及び前記入力ソース装置の内容案内画面 (22) を有する表示手段 (20) からなることを特徴とする、衛星デジタル放送用デコーダを利用した入力ソース選択装置。

## 【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案に係る、各種入力ソースとテレビ受像機の接続方法を示す概略図である。

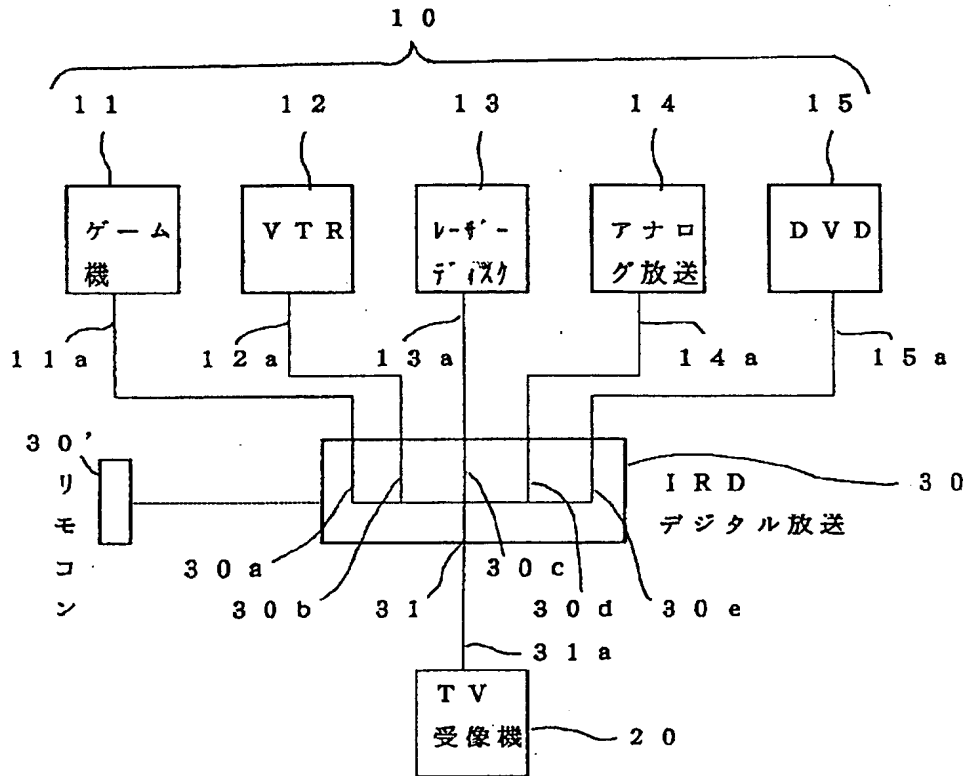
【図 2】 本考案に係る表示画面における表示内容の一例である。

【図 3】 従来の各種入力ソースとテレビ受像機の接続方法を示す概略図である。

## 【符号の説明】

- |    |               |
|----|---------------|
| 10 | 入力ソース         |
| 20 | テレビ受像機        |
| 30 | CSデジタル放送用デコーダ |

【図 1】

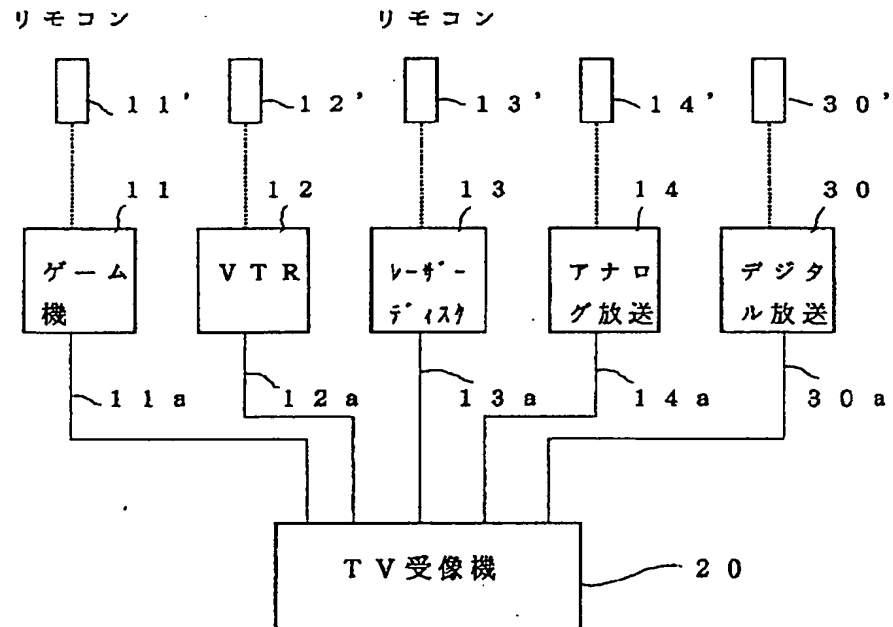


【図2】

20

チャンネル	名称	現在の番組内容
101	スポーツ	サッカー：ガンバ 対 サンガ
102	洋画	イントレランス
...	...	...
297	将棋	行軍将棋教室
300	音楽	大津美子ショー
ゲーム		
VTR		
DVD		
CSアナログ		
レディスタ		

【図3】



## 【考案の詳細な説明】

【0001】

## 【考案の属する技術分野】

本考案は、衛星デジタル放送用デコーダを利用した入力ソース選択装置に関する。

【0002】

## 【従来技術】

近時、日本ではテレビ受像機を介したサービスが多様化の一途をたどっている。この多様化は、大局的に見れば、

(A) 放送サービスの多様化、

(B) 入力ソースの多様化

の2点に集約される。

【0003】

(A) については、NHKに始まり、その後民間放送の隆盛を見たわけであるが、メディア環境としてはおおむね次のような経緯をたどっていると考えられる。

白黒 — カラー — VTR — BS衛星放送 — CS衛星放送

これらの受信装置の中には一般的なテレビ受像機に内蔵されていないものがあり、デコーダ等外付けの機器が必要な場合がある。これが(B)であり、その状態を図3に示す。ゲーム機11、VTR12、レーザーディスク映像再生機13、CSアナログ放送受信機14、CSデジタル放送用デコーダ30等の各種入力ソース装置がテレビ受像機20に接続されている。テレビをモニタとして考えた場合、入力ソース装置にはそれぞれ独立のリモコン11'、12'、13'、14'、30'があり、使い分けが紛らわしく、不便である。

【0004】

## 【考案が解決しようとする課題】

本考案はこのような現状に鑑み、行なわれたもので、デジタル多チャンネル放送サービスの中のチャンネル内容案内画面(EPG)を利用することにより、多様なサービスを簡便に利用できるようにすることを目的とする。

## 【 0 0 0 5 】

## 【課題を解決するための手段】

本考案に係る入力ソース選択装置は、デジタル多チャンネル放送のための衛星デジタル放送用デコーダ用の本来の機能と、少なくとも1種類の別の入力ソース装置の本来の機能と、それら機能の間でのスイッチング手段を有する衛星デジタル放送用デコーダと、デジタル多チャンネル放送のチャンネル内容案内画面及び前記入力ソース装置の内容案内画面段を有する表示手段からなることを特徴とする。

## 【 0 0 0 6 】

## 【考案の実施の態様】

本考案において使用する入力ソース装置は、例えば、ゲーム機、VTR、レーザーディスク映像再生機、CSアナログ放送受信機等である。

## 【 0 0 0 7 】

複数の入力ソース装置の間でのスイッチング手段としては、それ自体公知のものを使用することができ、例えばSCRやスイッチングトランジスタなどを使用することができる。

## 【 0 0 0 8 】

デジタル多チャンネル放送のチャンネル内容案内画面及び前記入力ソース装置の内容案内画面を有する表示手段は、例えば、テレビ受像機である。表示方法は、同一のメニュー画面に並べて表示してもよいし、切り替え画面を使用して別々に表示してもよい。

## 【 0 0 0 9 】

## 【実施例】

以下、添付の図面に基づき、本考案の実施例を説明する。

本発明は、その概略を図1に示すように、ゲーム機11、VTR12、レーザーディスク映像再生機13、CSアナログ放送受信機14等の各種入力ソース装置10とテレビ受像機20の間にCSデジタル放送用デコーダ30を介在させることを特徴とする。

## 【 0 0 1 0 】

C S デジタル放送用デコーダ 3 0 には、ゲーム機 1 1、V T R 1 2、レーザーディスク映像再生機 1 3、C S アナログ放送受信機 1 4 等の各種入力ソース装置 1 0 用の入力端子とケーブル 1 1 a、1 2 a、1 3 a、1 4 a で接続され、入力端子からテレビ受像機 2 0 に接続するための回路 3 0 a、3 0 b、3 0 c、3 0 d、3 0 e が組み込まれている。それぞれの回路はもちろんそれ自体公知であるので、詳細な説明は省略する。多種類の入力ソース装置回路はスイッチング手段 3 1 を介して単一のケーブル 3 1 a に集約され、C S デジタル放送用デコーダ 3 0 とテレビ受像機 2 0 の間をつないでいる。

#### 【 0 0 1 1 】

C S デジタル放送用デコーダ 3 0 に接続されたテレビ受像機 2 0 には、図 2 に示すように、デジタル多チャンネル放送サービスの中のチャンネル内容の案内画面 (E P G) 2 1 が表示される。例えば、同図に示すように、1 0 1 チャンネルがスポーツ、1 0 2 チャンネルが洋画、・・・のように表示される。このとき、同じ画面または切り替え画面にゲーム機、V T R、レーザーディスク映像再生機、C S アナログ放送受信機等の各種入力ソース装置の案内画面 2 2 も表示して選択可能とする。選択は C S デジタル放送用デコーダ 3 0 のリモコン 3 0' 操作又は手動操作とすることができる。

#### 【 0 0 1 2 】

なお、同じ発想で、入力ソース装置 1 0 のうちどれか 1 つを他の入力ソース装置とテレビ受像機の間に関ゲーム機を介在させることもできる。例えば、V T R、レーザーディスク映像再生機、C S アナログ放送受信機、C S デジタル放送用デコーダ等の各種装置とテレビ受像機の間に関ゲーム機を介在させたり、ゲーム機、レーザーディスク機、C S アナログ放送受信機、C S デジタル用デコーダ等の各種装置とテレビ受像機の間に関 V T R を介在させたりすることもできる。しかし、メニュー画面が最初に表示される点で、C S デジタル放送用デコーダを介在させるのが最も好ましい。

#### 【 0 0 1 3 】

#### 【 考案の効果 】

本考案によれば、表示画面における表示内容を選択することにより、デジタル



多チャンネル放送サービスの中のチャンネル内容だけでなく、ゲーム機、VTR、レーザーディスク映像再生機、CSアナログ放送受信機等の各種入力ソース装置を選択することができる。その結果、リモコンは不用か又はCSデジタル放送用デコーダ用のもの1種類でよいことになった。

(注) 考案の詳細な説明中NHKは登録商標である。